



NILO のドイツ便り

The letter from Germany of NILO

HP:www.officenilo.com

Blog:<http://nilo.officenilo.com/>

No.7 NILO

～ ドイツ人は日本人に似ているのか? ～

1

こんにちは、NILOです。私の大好きな夏がやってきました。

幼い日の私の故郷札幌は、非常に涼しく、乾燥した空気が心地よかったのですが、最近では残念ながら湿度も上がり、暑い夏になってしまいました。

ミュンヘンの涼しい夏は、そんな昔の札幌の涼しさを思い出させます。



さて、今月は、ドイツ人について少しお話したいと思います。

日本にいたとき、「ドイツ人って日本人と似ている気がする」というような話をいろいろな人から聞いたことがあります。

かくいう私も、ドイツ以外の国の人（たとえばスペイン人やブラジル人、アメリカ人など）と比べると、ドイツ人にはどこかしら、そう思わせるイメージがありました。が具体的にはよくわかりませんでした。

先日、短い夏休みでイタリアを旅していましたが、ごみの分別のなさ、リサイクル率の低さなどに結構驚きました。

ドイツはごみの分別はわりときちんとしていて、それ以外にも、人々は基本的に環境のことに関して熱心であり、法律が「こうしなさい」ということは国民により施行され、秩序は非常に保たれています。

しかしラテン系の国の人々には、そういった細かい決まりはなかなか簡単に守れないようで、ドイツでは常にリサイクル回収されている「ビン類、缶類、ペットボトル」なども、とにかくイタリアでは全部一緒に捨ててしまいます。

またドイツではスーパーでもどこでも、ペットボトルの飲料の購入時に「Pfand/プファンド」と呼ばれるデポジットを支払う仕組みになっており、からのペットボトルは各自がスーパーの専用のマシンに運び、前払いしたボトル分の金額を返金してもらいます。ビール瓶も同様ですが、ワインのビンや油のビンなどは公共設置のリサイクルboxへ運びます。

また、イタリアの宿泊先では、朝食をいただく際、使い捨てのお皿やフォークなどを使用しているのを見かけましたが、こういう、「使い捨てをする」というのも、ド

イタリアでもすべてではないとは思いますが、わりと「エココンシャスでない」面が見受けられました。

という以前に、私はドイツ人は日本人よりもエココンシャスだと思っています。

倭約家、という見方もできるのですが、それ以前に、環境保護目線ではないでしょうか。

洗濯も毎日するよりは溜めて、なるべく水が無駄に使わない、使い捨てのもの（食器類にかかわらずあらゆる分野で）をなるべく使わない、たとえばプレゼント用の包装なども個人が持っている包装紙で、以前に自分が誰かからもらったもので包装したりするのを良く見かけます。

また日本人だね～と私が良く突っ込まれるのは、なんにでもサララップをかけて冷蔵庫に保存するところです。ドイツ人は切りかけの野菜や果物にあまりラップをかけません。

状況によっては、日本人以上に几帳面、または生真面目、とも思えるのがドイツ人です。

バスや地下鉄も基本的に時間通り、会社や学校なども遅刻には厳しいです。

つまりそういう、几帳面なところ、生真面目なところが、日本人らしい感じがして、似ている、といわれるところなんだなあと、今は思います。

しかし、それを除くと、物言いがはっきりしていて、あまりシャイでもない。

家庭的な男性も多く、意外と全部アナログ。

日本人独特の、口には出さないが目でわかるとか、感じてもらえる、という文化はなく、そうしてほしいなら自己主張！がまず大事です。疑問があるならとにかく直接訊きなさい、など、すべてが非常にダイレクトです。女性、男性、年齢もあまり関係ありません、同等に意見を主張しよう、という風潮が感じられます。

また、世界に誇るさまざまなシステムを生み出してきた国だと思うのに、実態は結構アナログで、なんだかかわいいなと思います。

日本ほど、どこでもインターネットという感じではなく、今でこそスマートフォンがあるもののカフェなどは語る場であって、フリーWifiなんてないところのほうが多いです。

テレビの平均視聴時間が、他国に比べてやけに低く、子どもの教育にかなり熱心です。日本の子どもが毎日「おかあさんといっしょ」を観ているなんて聞いたら、きっと口をあんぐりあけて、「それは止めたほうがいいでしょう」と忠告されるはずです。

10歳まではテレビを見せない、甘いものは見せない、など徹底している家庭も多いようです。なかなか厳しいですね。

地下鉄などの公共交通機関もいわゆる自己申告的チケットの買い方で、出るときに改札を通さないのが、日本のような「PASMO」なんて驚きのシステムなのです。

そんなドイツ人ですが、はじめは冷たく感じるかのような「ダイレクト」さ、ですが、慣れてくると、嫌味もなく、付き合いやすい気がしてきます。

とはいえ、人は一人ひとり違うもの、国民性はあるものの、最後はその人が、どういう人なのか、ということだけが残りますね。

それではまた次回！ Tschüss!

3

NILO

名前：NILO（ニロ） 1981年7月9日生まれ 北海道出身 シンガーソングライター

プロフィール

- 10代の時知り合った音楽関係者との出会いをきっかけに、音楽の道を志す。
- 会社勤めと一人旅をしばらく続けたのち、2007年にメジャーデビュー。
- ボサノバやジャズのカバーを歌いながら、オリジナル音楽の方向性を模索。
- 2011年よりドイツに移住し、音楽活動を開始。
- 趣味はトライアスロン、サイクリング、ハイキングなどで、バックパックを背負っての旅もライフワーク。

HP:www.officenilo.com Blog:<http://nilo.officenilo.com/>



ニュース

約3年ぶりとなるオリジナルミニアルバム、「再生」の発売について

2013年1月23日発売予定でした、NILOの「再生」ですが、諸事情により、いったん発売を中止することになり、ご予約いただいていた方々には、「発売中止」のご連絡が行っているかと思えます。ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

販売においては、現在再び準備をしている段階ですので、もうしばらく経ったら、正式に、再度発売日をご案内できるかと思えます。

ご理解の上、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

なお、デジタル販売のMP3ダウンロードは、iTunesやamazonMP3にて変わらずご視聴、ご購入いただけます。NILOのオフィシャルサイトでもご視聴いただけますのでご利用ください。

また、配信限定シングル「美しい」が、2012年12月より発売中です。iTunes,amazonMP3等) こちらもどうぞお聴きください。

